

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国際労働機関等協力事業	担当部局庁	大臣官房	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和59年度	担当課室	国際課	藤井 康弘			
会計区分	一般会計	施策名	VI-3-2 二国間等の国際協力を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ILO憲章第13条	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	開発途上国、とりわけ東南アジア各国における雇用、労働問題の解決を助けディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を実現するため、ILOに対する拠出金により、協力事業を行っている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際労働機関(ILO)を通じ、東南アジア各国における雇用、労働問題の解決を助け、ディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)の実現に向け、①アジア地域における雇用分野セーフティネット整備支援事業、②ILO-WHO連携のもと実施するASEAN地域の健康確保対策事業、③ASEAN地域の健全な労使関係育成事業、④南アジアにおける「労働者保護の確保された雇用」への移行支援事業、⑤アジア地域における社会セーフティネット構築のための基盤整備等支援事業、⑥日本/ASEAN社会セーフティネット構築支援事業、⑦地球環境の問題に配慮した雇用戦略支援などの活動を推進している。 (当事業は、事業番号501「国際労働機関拠出金事業」に付随する事務的経費である。)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	3	3	3	3	4
		補正予算					
		繰越し等					
		計	3	3	3	3	4
		執行額	2	2	3		
	執行率(%)	74.1	79.8	83.9			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は対象国の制度、慣習を変えるよう働きかけるものであり、成果指標を定量的にとらえることは困難である。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	プロジェクト(国際労働機関が行うディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)実現のための各種事業)毎に設定されている計画目標(immediate objectives)の達成状況(前プロジェクトと同程度/各プロジェクト終了時)	活動実績(当初見込み)		100%	100%	100%	—
				—	—	—	()
単位当たりコスト	— (円/)	算出根拠	プロジェクト毎に、各種制度構築や国家計画の策定等、長期的な目標を設定しているため、単位あたりコストを設定するのが困難である。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	国際分担金等事務関係経費	3	4	・ 航空運賃等の増等にとまなうもの			
	計	3	4				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>日本が拠出しているプロジェクトについて、そのプロジェクト毎に設定される計画目標の達成状況について、国際労働機関アジア太平洋地域総局(ILO・ROAP)の作成する報告書により、把握すると共に、実施状況をレビューするための年1回の協議を行っている。また、年2回、国内労使が参加する会合において、事業の実施状況を報告している。</p> <p>年1回の年次協議において、アジア地域の援助ニーズを把握し、プロジェクト内容の見直しを適宜行っている。また、プロジェクトの実施期間(概ね3年間)終了時には、プロジェクト存続の必要性を検討し、所期の目的を達成した事業は終了している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	<p>本事業は、開発途上国の雇用・労働問題への支援のために必要な経費であり、執行の観点からも概ね妥当であるが、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

厚生労働省
3百万円

【国際分担金等事務関係経費】

A. 専門委員
1百万円

東南アジアにおけるディーセントワークの実現
のための技術協力にかかる事務関係経費

※百万円以下については四捨五
入処理による表記を行っている

職員旅費 2百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 専門委員			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費・謝金	ASEAN地域における環境整備事業会合出席のための委員等旅費及び謝金	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					